

ふくおかの経済

令和4年1月号



生産

持ち直しの動きがみられる。

11月の生産指数は、輸送機械工業などの上昇により2か月連続で前月上回りました。

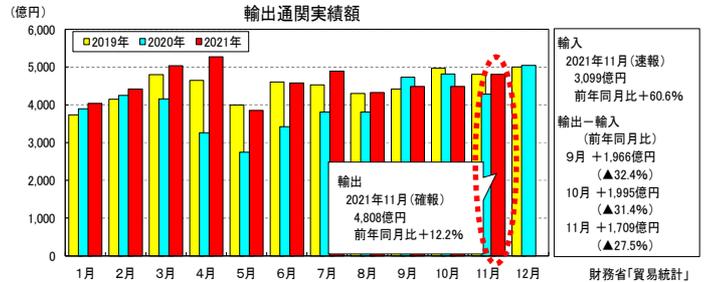


鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出は、おおむね横ばいとなっている。
輸入は、このところ持ち直しの動きがみられる。

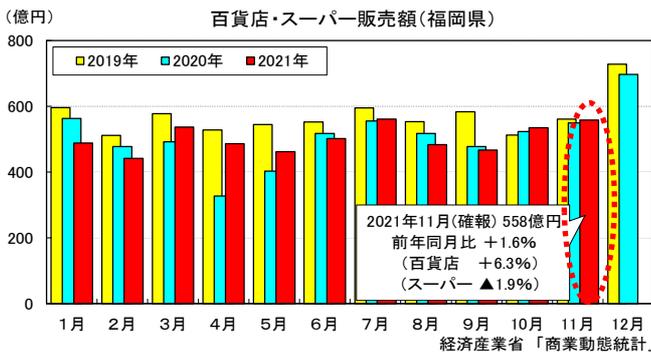
11月の輸出は、前年同月比+12.2%と3か月ぶりに前年を上回りました。



消費

このところ持ち直しの動きがみられる。

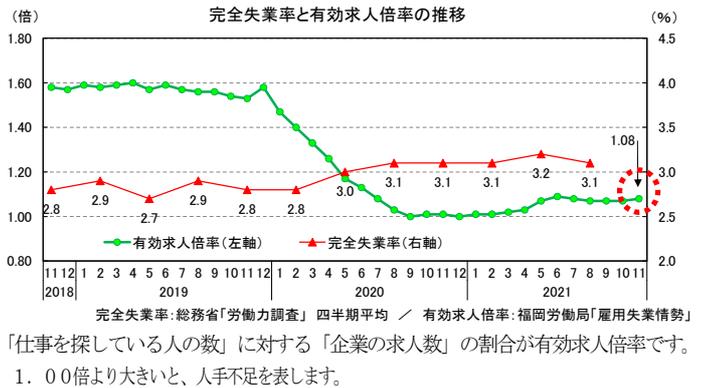
11月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比+1.6%と2か月連続で前年を上回りました。



雇用

求人改善傾向は続いているものの、一部に厳しさが見られる。

11月の有効求人倍率は1.08倍で、前月から0.01ポイント増加しました。



今月のトピック コロナ禍が物流に与えた影響について ~国内の宅配便市場の動向を中心に~

○コロナ禍における巣ごもり需要の影響で2020年はトラックによる宅配便取扱実績が大幅に伸びており、2021年も2020年と同様かそれ以上の実績が見込まれます(図表1)。また、飛行機による宅配便取扱実績についても2021年は前年より約40%プラスとなり、大幅に増加しました(図表2)。

○この背景に、Eコマース(電子商取引、略してEC)市場の急速な拡大が上げられます(図表3)。経済産業省の調査では、家電や書籍等の物販系分野に関するECの市場規模は2013年から2020年の7年間で約6兆円から12兆円へ2倍に拡大しています。また、全商取引に占めるECの比率を表すEC率も約4%から8%になっています。特に2019年から2020年の1年で市場規模は2兆円以上拡大しており、引き続き市場規模は拡大していくものと考えられます。

図表1 トラックの宅配便取扱実績



出所: 国土交通省「トラック輸送情報」

図表2 国内航空宅配便取扱実績



出所: (一社)航空貨物運送協会

図表3 物販系分野のBtoC-EC市場規模及びEC化率の経年推移

